

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年5月分)

1. 調査実施期間 平成22年 4月20日 ～5月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

5月分の回答企業数は44社、回収率は93.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

| | | 22/5月 | 6月 | 7月 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 仕入動向 | 国産材 | 4.4 | 4.4 | △ 4.5 |
| | 外材 | △ 6.1 | 9.8 | △ 1.3 |
| 販売動向 | 国産材 | △ 1.5 | 5.9 | 9.1 |
| | 外材 | △ 2.4 | 8.5 | 7.5 |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 7.4 | △ 5.9 | △ 6.1 |
| | 外材 | △ 22.4 | △ 18.4 | △ 10.8 |

仕入は、国産材、外材とも先行きプラスから小幅マイナスと、梅雨期にも関わらず堅調である。

販売は、国産材、外材とも先行きプラスと回復基調の動きになっている。

在庫は、国産材ほぼ変わらず、外材は、大きなマイナス幅縮めて適正規模化してきている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

| 品目 | 22/5月 | 6月 | 7月 |
|----------------|-------|------|------|
| スギ正角(グリーン) | 0.0 | 0.0 | 4.2 |
| スギ正角(KD) | 1.9 | 3.8 | 4.0 |
| ヒノキ正角 | 1.9 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ土台角 | 0.0 | 1.9 | 0.0 |
| 米ツガ正角(現地挽) | 3.8 | 3.8 | 3.8 |
| 米ツガ防腐土台角 | 0.0 | 1.9 | 2.0 |
| 米ツガ割物(現地挽) | 5.8 | 5.8 | 6.0 |
| 米マツ平角 | 17.3 | 11.5 | 4.0 |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | 11.5 | 11.5 | 8.0 |
| ホワイトウッド集成管柱 | 51.9 | 35.2 | 13.5 |
| レッドウッド集成平角 | 47.6 | 35.7 | 19.0 |
| 型枠合板(国産) | 39.6 | 22.9 | 10.9 |
| 型枠合板(輸入) | 50.0 | 27.1 | 13.0 |
| 針葉樹合板 | 45.7 | 21.7 | 13.6 |

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角、土台は小幅なプラスからゼロとほぼ横ばい。

米ツガ正角、割物、防腐土台角いずれもプラス、ゼロで全く安定。米マツ平角は先行きプラス幅を縮めるが強含みに変わりにない。北洋アカマツタルキは品薄感でプラス基調。品不足によりWW集成管柱はプラス幅を縮めたものの好調である。RW集成平角もプラス基調。

合板(針葉樹含む)はプラス幅を縮めたが、いずれの合板もプラス基調で推進している。

価格動向の全因子がプラスないしゼロとなり、価格が大きく好転していくことが窺える。

| | |
|---------------|--|
| 1. 荷動き | |
| 仕入動向 | 米マツ一般材丸太では、米国産丸太輸出価が全グレードで値上げ。特に尺下の値上げ幅が大きい。カナダ材も同様に全てのグレードで強くなっている。中国の買いは相変わらず旺盛で、全グレードに及んでいる。スプルー等丸太は出材少なく、問屋は手当てに苦慮している。(東京:米材問屋) 流通の劇的変化から米加材のシェアが急激に変化している。米ツガ→国産スギなどが顕著な傾向である。(東京:米材問屋) 米材入荷は変わらず、北欧は入荷遅れのため減少(5月)。(東京:米材問屋) 4月は仕入れが多かったのが今月は控える。(東京:外材集成材問屋) 集成材が値を上げている。(東京:米材問屋) 諸外国の買い付けは相変わらず底固く日本向けの生産には消極的。中国は連休のために生産は一時的に減少。(東京:南洋・中国材問屋) 外材に引っ張られて、いくら強含み。丸太は既に高くなりつつある。(東京:国産材問屋) 現地の丸太不足気味で工場への入荷減。(東京:南洋材問屋) 端境期に向い出材は減少する。(東京:国産材問屋) 最近では産地に行かずとも近隣の市場で用が足りる。産地も売行き悪く、大都市圏の市場業者に委託材をかなり送ってくるようだ。(東京:国産材問屋) 丸太価格上昇、生産量も増えず、製品価格強含み。(東京:国産材問屋) 北欧材の品薄状態が続く。WW管柱、RW平角は毎月値上がり。しかし国産材にシフトしている様子も見られず、スギ・ヒノキの荷動きはあまり見られない。(東海:外材問屋) WWの仕入れ単価が上がったが、売値に乗せられるかどうか。(東海:外材問屋) 2,3の客筋で動きが出ており、5月は少し良くなると思う。(東京:仲買小売) 仕入れを極力抑えて我慢。(東京:仲買小売) |
| | 販売動向 |
| 在庫動向 | 米マツ一般材丸太では、新材入荷の度にコストがアップしているものの、問屋は小幅の値上げを継続させていくしか方法がない。白系役物は入荷減から高値で推移している。(東京:米材問屋) 荷動き全般に良くなってきている。(東京:米材問屋) 昨年同時期よりは動きが良いようだ。(東京:米材問屋) 最悪期は脱したと思うが徹底的な当用買いは変わらず、価格的に動意を見せていない。(東京:米材問屋) 連休前に一時的な受注増はあったが、連休明けの具体的な受注は少ない。(東京:南洋・中国材問屋) 例年5月は販売量が落ちるので減少すると思う。(東京:外材集成材問屋) 見積りが増えてきた。(東京:国産材問屋) 木材の需要が多様化し、違った価値観が出始めている。(東京:特殊材・銘木問屋) 引合い増加。(東京:国産材問屋) 先月は期待が強かったが、実際は荷動き緩慢であった。輸入材全てが値上がりすると認識が出てきているため、5月の荷動きに期待。(東京:国産材問屋) 小口ながら引き合いは多少増加。(東京:南洋材問屋) 連休明け見積りも増え、少し動き始めた気配あり。しかし相見積り多く、かなり安く見積らないと決まらず。(東京:国産材問屋) 営業日数減で売上は減るだろう。(東海:外材問屋) まとまった仕事の見積りはあるが決まっていけない。(東京:仲買小売) 取引工務店の工事成約数はまだまだ少ない模様。特にゼネコンの名義人工務店は引き続き苦戦の様子。(東京:仲買小売) 先月から細かい仕事あり、国産材・外材問わず構造材・羽柄材とも動いているが、依然先の見通しは立たず。(東京:仲買小売) 今月、来月は若干荷が動く見込み。大きな期待はしていないが、最悪な状態は脱したのでは。(東京:仲買小売) 荷動きが活発になるのは梅雨明けからだろう。(東海:仲買小売) 荷動きが悪い。景気が悪いせいかな。(大阪:仲買小売) |
| | 在庫動向 |
| 2. 価格動向 | |
| スギ正角 | スギKD柱材生産調整のため在庫減、納期に時間がかかる。(東京:問屋) WW管柱が上がってきているし、端境期に向うため上がる可能性も。(東京:問屋) |
| ヒノキ正角 土台角 | ヒノキ全般に少なめ、価格は変わらず。(東京:問屋) |
| 米ツガ | 値上がり必至。(東京:問屋) 正角多少上昇気味。(東京:仲買) 外材全般に予想では横ばいと思うが、問屋筋は値上がりの方向。(大阪:仲買) |
| 米マツ平角 | 集成梁の急上昇につれてムク材平角もジリジリ値を上げている。(東京:問屋) メーカー各社 KD平角 ¥2,000値上げ。(東海:問屋) KD上昇、グリーン仕入値は今の所変わらず。(東京:仲買) |
| 北洋アカマツ タルキ | 原木が不足しており、夏場の材不足が心配との声が出ている。(東京:仲買) |
| WW・RW 集成材 | 入荷の度に値上げ状態。売値も多少上げて貰ったが動くだけで利幅なし。(東京:問屋) RWは安価から比較すると10-15%値上がっているが、それでも仕入れにくい状況が続いている。(東京:問屋) WW、RWとも品薄、価格が高い。しばらく続く見込み。(東京:問屋) どこまで値が上がるか。(東海:問屋) 105角 1,950/本。120角 2,450/本。B/Lで57,000~58,000/m ³ 。(東海:問屋) プレカットでは仕事が決まらなると価格が出せないとの話も聞く。(東京:仲買) 品不足で大変。(東京:仲買) |
| 合板 | 針葉樹合板12mm 700~720円/枚、28mm1,500円/枚。(東海:問屋) 価格上昇したが梅雨明けから下落するだろう。(東海:仲買) 先月と同じく品薄のためやや上昇。針葉樹合板も同じ。(東京:仲買) 価格じわじわ上昇。需要は今ひとつだが供給が少ないので、しばらくは少しずつ上昇の状況が継続か。(東京:仲買) メーカーはかなり強気。需要が極端に増えた訳ではないので、どの辺で落ち着くか。(東京:仲買) メーカーの生産調整が効を奏したのか価格は上向き、しかし需要はそれ程上向きではない。(大阪:仲買) |